



あのとときの常呂・写真館

VOL 177

(1988年)

昭和63年1月29日

常呂町カーリングホール落成式

▶「広報ところ」2月号では4ページを割いて、カーリングホールのオープンを伝えています。●広報では、常呂町におけるカーリングの歩みを紹介し、カーリングホールの整備に関しては、昭和61年1月のNHK杯カーリング大会時に来町した横道道知事が「64国体でデモンストレーション競技としてカーリングを採択」することを発表し、同年7月に日本体育協会から正式決定されたことから始まったと伝えています。この決定を受けて国内初のカーリングホールがスポーツセンターから通路でつながる形で建設され、落成式を迎えます。世界大会も開催できる国際規格で作られ、5シートを持つ屋内専用施設の誕生は常呂町のカーリング発展に大きく貢献しました。このカーリングホールは老朽化に伴い、その役割は平成25年11月1日新築・オープンの通年型アドヴィックス常呂カーリングホールに受け継がれています。





●このカーリングホールのオープン・セレモニーには来賓としてカナダ大使館公使のボブ・マーナー氏が来町し、テープカット、カーリング石の使い初めを行いました。



●このオープンに合わせ、この日から第8回NHK杯カーリング選手権大会も行われ、カーリングホール最初の大会となりました。



●翌2月12-14日には、「第7回北海道カーリング選手権大会兼アルバータ杯争奪カーリング大会」が開催され、本格的にホールが使用されていきます。

